＜先週の説教から＞

『ルカ㊲―彼らの信仰を見て！』

武田真治牧師

詩編　41：1～14　ルカ福音書　5：17～20

今日の聖書箇所の題は『新共同訳聖書』では「中風の人の癒やし」ですが、2018年に出版された『聖書協会共同訳』では「体の麻痺した人の癒やし」となっています。「中風」という言葉は差別用語ではありませんが、現代ではあまり使わなくなっているからだということです。ギリシア語では（パラレルメノス）で（パラリューオー＝緩くなる、弛緩する）から来ています。即ち、手足や体に力が入らない状態を指します（＝英語のパラライザー＝体を麻痺させる防犯銃はここから）。このような身体になる原因は、脳卒中の後遺症や事故等による脊椎の損傷、ポリオなどで起こる症状ですが聖書はその原因については何も書いていません。

いずれにしろ、この人は自分では身体を動かせない状態であったのでした。故に「男たちはが中風を患っている人を床に乗せて運んで来た」のです。しかし、そこには大勢の癒しを求める人や説教を聞こうとする人たち、更には「ファリサイ派の人々と律法の教師たちがそこに座っていた(17節)」とあり、とてもイエス様の側にまで、床を運ぶことは無理な状態でした。普通ならそこで諦めてしまいそうですが、なんと彼らは「屋根に上って瓦をはがし、人々の真ん中のイエスの前に、病人を床ごとつり降ろした」のでした。当時の家の屋根は簡易なもので穴を開けようとすれば出来るものでしたが、それでもわざわざ屋根の上まで床を運んで、屋根を壊してまでして病人をイエス様の前に降ろすということは大変な労力を伴いますし、この家の持ち主に必ず怒られるでしょう。イエス様の周りに群がっている人たちからも「抜け駆けするな」という批判を受けるはずです。にもかかわらずこのような大胆な行動に出ている理由は一つ、なんとしてもこの人の病を治してあげたいという一心でした。イエス様がその「彼らの信仰を見て、『人よ、あなたの罪は赦された』と言われ」と“癒しの奇跡”を起こされたことも、彼らのイエス様を求める真剣さに心を打たれたからでしょう。

ただ、ここで注意すべき点は、この「彼らの信仰」とはその床を吊り降ろした人たちの信仰だけではないという点です。この病人の“信仰”も含まれているのです。そうでなければ、彼にむかって『罪が赦された』と仰られることはないはずです。イエス様はここに、中風の人と運んできた人たちとの《密接な良き関係性》を見抜かれたのです。この病人が前々から周りの人たちと良き関係を築いていなかったら、これほど熱心な行動を起こすだろうかと。少なくとも、前もってこの人がイエス様への強い信仰や思いを家族や友人達に話していたからこそ、なんとかしてイエス様の元へ連れて行こうと実行したのでしょう！これこそが「彼ら（病の人も含めて）の信仰を見て」癒しを与えられたと言うことなのです。その人個人の信仰だけが問題ではないことは私たちに“希望”を与えます。《執り成しの祈り》が用いられるのです。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【今週の集会】

＊聖書研究・祈祷会　Ⅰ．2月26日（水）20：00
　　Ⅱ．2月27日（木）10：30
聖書研究：　ローマの信徒への手紙
祈祷主題：　説教題掲示奉仕を覚えて
担当者：　（水）吉澤　（木）木村
祈りに覚える人：　鈴木さん　鈴木さん
＊羊雲の会　2月24日（月）13：30～

【教勢報告】

主日礼拝　男18　女48　計66
祈祷会　Ⅰ.男3　女2　計5　Ⅱ.男1　女8　計9
日曜学校　幼稚科7　小中科7　計14
ハンナの会　2月18日(火)　男2　女5　計7

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【次週礼拝】　3月　2日（日）

聖　書：詩　編　41：11～13
　　ルカによる福音書　5：21～26
説　教：「ルカ㊳―心の中で考えていることを」
　　武田 真治 牧師
讃美歌：12(1)、32、132、201、441、
　　78(1～3)、91(1)

【次週当番表】

司式:岩佐長老　奏楽:羽倉　礼拝:保坂長老
配餐：飯田　金刺　金刺　齋藤　各長老
献金：岩井　岩井　受付：西尾　森本
会堂準備：浅井　阿部　齋藤　山田
看板：保坂　週報：岩佐　お花：森本

【次週集会予定】

礼拝前：・聖書輪読会　・求道者会
礼拝後：・お茶の会・牧師と語る会・長老会
　　・会堂管理委員会　・聖歌隊練習

66－8

週報

2024年度　教会標語

「主につながり、その枝としてひろげて」

２０２５年　２月　２３日

日本キリスト教団　**上尾合同教会**
牧師　**武田　真治**

〒362-0041　上尾市富士見２－３－33
TEL＆FAX　048－771－6549
http://www.ageo-church.org/